

平成25年度(2013年度) 選手選考方法(案)

◆第15回世界選手権大会(スペイン・バルセロナ 7/28～8/4)

[選考方法]

- 1、選考競技会を日本選手権(長岡・4/11～14)とする
- 2、選考は、第15回世界選手権大会競技規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会があたり編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
- 3、リレーの選考は、別途考慮し選考する

*オリンピックにてメダルを獲得した選手は、その種目に限り2013年世界選手権出場権を付与する(選考会同種目出場を条件とする)

◆第27回ユニバーシアード大会(ロシア・カザン 7/6～17)

[選考方法]

- 1、選考競技会を日本選手権(長岡・4/11～14)とする
- 2、選考は、第27回ユニバーシアード大会競技規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会あたりB決勝以上に進出した選手の中で種目間の較差を考慮し選考する
- 3、参加有資格者は大学在学中(学生委員会登録者)及び卒業後2年以内(インターナショナルD突破)、年齢は18～24歳とし、最高2回までとする。
- 4、リレーの選考は、別途考慮し選考する
- 5、編成方針(数を含む)は日本オリンピック委員会が決定する(人数は、現在折衝中)

***第15回世界選手権代表者以外から選考する**

◆第4回世界ジュニア選手権(ドバイ・8/26-31)

[選考方法]

- 1、選考競技会をジャパンオープン(相模原・5/24～26)とする
- 2、選考は、第4回世界ジュニア選手権競技規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会あたり編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する(1種目・1国2名まで)
- 3、参加有資格者は、FINAルールに準ずる女子14～17歳・男子15～18歳(2013年12月31日を起算とする)(男子:1995年～1998年、女子1996年～1999年)但し、高校3年生の過年生、および大学生は認めない。
- 4、編成人数は未定とする。
- 5、世界選手権出場者の参加も認める
- 6、本大会参加の意思を確認する。

*全国中学校への出場は移動等の問題で参加できない

◆アジアエージ大会(インド・チェンナイ・9月)

[選考方法]

- 1、選考競技会を春季JOとする
- 2、選考は、アジアエージ大会競技規則選考方法に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会あたり編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
- 3、編成は、14歳以下の1グループで編成人数は未定とする

◆第6回東アジア大会(中国・天津 10/6～15)

[選考方法]

- 1、選考競技会をジャパンオープン(相模原・5/24～26)とする
- 2、選考は、第6回東アジア大会競技規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会あたり編成方針(日本オリンピック委員会が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
- 3、編成方針(数を含む)は日本オリンピック委員会が決定する(人数は前回34名)
- 4、本大会参加の意思を確認をする

***第15回世界選手権代表者以外から選考する**

◆ワールドカップ遠征

*ワールドカップ遠征に選考された者は日本開催大会に必ず出場することを条件とする

【中東/ヨーロッパ/アジアシリーズ】 *1シリーズのみとし、シリーズの選択に優先順位をつける

- 1、選考は、日本水泳連盟選手選考委員会あたり、ワールドカップ編成方針・主旨に沿って選考する
- 2、日本選手権及びジャパンオープンにおいてインターナショナルC以上を突破した者へアンケートを実施し、書類選考で記録の高い順から選考する
- 3、派遣人数は未定

◆選抜遠征(場所:AUS予定)

- 1、書類選考とし、平成25年度日本水泳連盟インターナショナル選手標準記録突破者とする
- 2、選考は、対象競技大会競技規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会あたり編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
- 3、編成人数は、最大20名とする

***オリンピックメダル候補は除外とする**

◆ジュニアブロック遠征(シンガポール・3月)

- 1、選考は、各ブロックに一任とし、日本水泳連盟に推薦し、日本水泳連盟選手選考委員会が選考する
- 2、参加有資格者は、中学生及び高校生とする(インターナショナル・ナショナル以外とする)平成7年4月2日以降に生まれた者(平成年25月2日を起算とし、18歳未満の者)
- 3、編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
- 4、編成人数は、40名とする(各ブロック4名 男女、中学・高校各1名ずつを原則とする)